

令和元年第3回大仙市議会定例会

市政報告

令和元年9月2日

大仙市長 老松博行

令和元年第3回大仙市議会定例会にあたり、主要事業の進捗状況並びに諸般の状況についてご報告申し上げます。

はじめに、全国花火競技大会「大曲の花火」並びに関連事業についてであります。

93回目を迎えた今年の「大曲の花火」は、「平生凛々^{へいぜいりんりん} より安全に より芸術的に」を大会テーマに、一昨日、絶好の天候の中、75万人のご観覧のもと盛大に開催されました。

今大会は、内閣総理大臣賞に輝いた茨城県の野村花火工業株式会社の作品をはじめ、創造性溢れる花火が次々と打ち上がるとともに、新たな試みとして花火ミュージカルに仕立てた大会提供花火「令和祝祭^{れいわしゅくさい}」が夜空を彩るなど、まさに令和の幕開けを飾るに相応しい大会になりました。多大なるご協力をいただいた国土交通省をはじめ秋田県警、広域消防、消防団など関係機関の皆様にご心から感謝を申し上げます。

また、「大曲の花火」を盛り上げる「大曲の花火ウィーク」につきましても、8月25日の「夏まつり大曲 2019」を皮切りに、30日、31日に「街中音楽SHOW」や「日替わり花火SHOW」などのイベントが行われ、市内外から訪れた多くの皆様で賑わいました。

なお、10月12日に開催される「大曲の花火 秋の章」につきましても、令和の時代の始まりと創造花火誕生55年の節目を記念し、

「花火劇場 万葉のひびき」と題し、和楽器を中心とした音楽と花火のコラボレーションによる「万葉の世界」を表現する創造性豊かな劇場型花火を打ち上げることとしております。

次に、「花火産業構想 第Ⅱ期」関係についてであります。

昨年8月に開館した花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」につきましては、市民の皆様をはじめ、全国の花火ファンや観光客など、当初の目標を大きく上回る年間6万7千人もの皆様からご来場いただいております。去る8月4日には、開館1周年を記念したイベントを開催し、本市のマスコットキャラクター「まるびちゃん」との記念撮影会や花火クイズラリーなどを行い、家族連れをはじめ多くの来館者で賑わっております。今後も創意工夫に富んだ企画展示の充実に努め、再び訪れたいと思っただけの資料館づくりを目指してまいります。

「花火のまち中心市街地環境整備事業」につきましては、大曲大町地区都市再生整備計画に基づき、JR大曲駅西口から「はなび・アム」への案内サイン3基と誘導サイン14基を整備することとしており、今月下旬に発注し、年度内の完成を目指してまいります。

次に、「農業と食に関する活性化基本構想」についてであります。

花火産業構想に続く二つ目の地域活性化構想として策定を進めている

「農業と食に関する活性化基本構想」につきましては、庁内に関係部課長で構成する策定チーム会議及び作業部会を設置し、活発な協議を行っております。また、8月7日には2回目となる策定委員会を開催し、専門分野の有識者である委員の皆様からご意見を頂戴しております。今後も全ての地域が活気づく、実効性のある構想策定に向けて作業を進めてまいります。

本構想の策定に先駆けて進めている「いぶりがっこの産地化」につきましては、市内生産者や秋田県立大学、秋田県総合食品研究センターとの連携のもと、夏大根の試験栽培を実施したほか、収穫した4品種の夏大根を加工した いぶりがっこの分析調査や昨年度に引き続き秋大根の試験栽培も実施しております。

また、こうした取組に加えて、副市長を総括とする「大仙市いぶりがっこ産地化プロジェクトチーム」を7月17日に設置し、庁内推進体制を整えております。

次に、主な部局ごとに諸般の状況についてご報告申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

「大学卒業程度」の職員採用試験につきましては、民間企業で活用されている総合適性検査、通称「SPI3」の導入により、前年度の受験者数の2.1倍となる170名が受験し、一般事務職上級20名、

学芸員、保健師、管理栄養士が各 1 名、移住定住者 3 名、あわせて 26 名が合格しております。また、「短大・高校卒業程度」の職員採用試験については、7 月 17 日から 8 月 16 日まで募集を行ったところ、10 名程度の採用予定に対し 50 名の申込みがあり、今月 22 日に 1 次試験を行うこととしております。

次に、企画部関係についてであります。

シティプロモーションや地域活性化の推進の一環として、去る 7 月 31 日に、世界最大のソーシャルネットワークサービスを有するフェイスブック社の日本法人・フェイスブックジャパン株式会社と「地域経済・地域コミュニティ活性化に関する事業連携協定」を締結しております。本協定は、本市と横手市、湯沢市、仙北市の県南 4 市の連携によるもので、今後、この連携を活かしながら、市政情報の発信力強化や地域経済産業の振興、コミュニティの活性化に向けた取組を行ってまいります。

秋田新幹線の防災対策トンネル整備促進につきましては、7 月 26 日、本市において、「秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会」の総会を行ったほか、地元国会議員、秋田県知事、秋田県議会議員をはじめ約 280 名の皆様からのご出席のもと、秋田県との共催によるシンポジウムを開催しております。

また、トンネル整備に係る要望活動につきましては、8 月 7 日に、

同盟会会員17団体の参加のもと、内閣官房長官や財務大臣、国土交通副大臣と面会し積極的な財政支援を要請するとともに、秋田・岩手両県選出国會議員に対し要望を行ったほか、東日本旅客鉄道株式会社本社を訪問し、トンネル整備の早期着手について要請しております。

「ふるさと納税」につきましては、全国花火競技大会と結び付けた返礼サービスとして8月31日から2日間、「大曲の花火特別観覧ツアー」を実施しております。参加された皆様には、専用席での「大曲の花火」の観覧のほか、市内温泉施設での宿泊、はなび・アムや市内の酒蔵、旧池田氏庭園の見学など、本市の魅力を満喫していただいております。今年度はこのツアー以外にも「大曲の花火イス席」を新たな返礼品として加えており、こちらも469名の皆様から申込みをいただいております。

また、このほかにも「みまもり訪問サービス」を新たな返礼サービスとして追加しております。これは6月28日に締結した日本郵便株式会社との「見守りサービスに関する協定」に基づくもので、寄附者と離れて本市で暮らす家族を郵便局員等が定期的に訪問し生活状況などをお知らせするサービスであります。今後も本市を応援してくださる皆様から喜ばれ、関係人口の創出につながるような返礼品等の企画に努めてまいります。

移住定住の促進につきましては、新たな取組として6月15日

に魅力体験住宅「^{ようこそ}youkoso」の供用を開始しております。これまで延べ3組5名が利用しておりますが、うち2名が本市への移住を決めており、現在、市の無料職業紹介所を介した就職活動を行うなど移住に向けた準備を進めております。今後も地元の四ツ屋地区コミュニティ会議との連携を図りながら、移住につながる体験の場を提供してまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

子育て環境の充実につきましては、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うため、7月1日に、子育て世代包括支援室「すくすくはなび」を、大曲、西仙北及び中仙の3つの健康増進センター内に開設しております。今後も関係機関との連携を図りながら、気軽に相談できる体制の充実やサービスの拡充を図るなど、安心して出産・子育てができる環境の整備を進めてまいります。

「プレミアム付商品券事業」につきましては、8月16日から申請を受付しており、今月中旬から購入引換券を順次発送する予定であります。商品券の販売は、10月1日から来年2月末日まで、市役所各庁舎に設置する特設窓口で行うこととしており、組織横断的な連携体制のもと、円滑な受付や販売、審査等を実施してまいります。

受動喫煙防止対策につきましては、健康の保持増進と快適で良好な生活環境の形成に向け、今般、市所管施設を対象とする「大仙市受動

喫煙防止対策指針」を策定し、7月1日から市役所各庁舎や学校、病院、子育て支援施設等を対象に敷地内禁煙を実施しております。その他市が所管する集会施設や農業施設、公民館等については、来年1月1日からの敷地内禁煙に向け建物内禁煙を実施しております。今後も市広報やポスター等による周知を行い、市所管施設における全面禁煙に向けた意識啓発を推進してまいります。

次に、農林部関係についてであります。

クマによる人身被害につきましては、8月14日、太田地域において、新聞配達員がクマに襲われる事案が発生しております。被害に遭われた方に心からお見舞いを申し上げます。

今般の事案を受け、秋田県では、翌15日に「ツキノワグマ被害緊急対策会議」を開催し、本市を含む関係団体の参加のもと、被害状況の確認や今後の対策協議などを行っております。また、本市におきましても、注意喚起や巡回パトロールを強化するとともに、FMはなびによる情報提供を行うほか、クマの目撃情報が多い箇所に捕獲用の檻や暗視カメラを設置するなどの緊急対策を講じたところであります。

水稻につきましては、春以降、例年より降雨が少なかったことにより生育が一時停滞した地域もありましたが、好天が続いたことにより出穂期は平年より2日早い8月1日となり概ね良好な生育状況となっております。

ます。

畜産振興につきましては、J A全農北日本くみあい飼料株式会社が南外地域 ^{いのがしら}猪ノ頭地内で肥育養豚団地「秋田大仙農場」の開設を計画しており、去る7月10日に起工式が行われ、現在、年内の完成を目指して工事が進められております。

次に、経済産業部関係についてであります。

雇用対策につきましては、本市や商工団体等で構成する「大仙市雇用創造協議会」において、地域の特性を生かした魅力ある雇用やそれを担う人材の維持・確保を目指し策定した事業構想が、今般、厚生労働省の「地域雇用活性化推進事業」に採択されております。今後、企業向けの各種講習会の開催や、求職者のスキルアップ支援のほか、企業や求職者のマッチング支援などを行う計画としており、当該事業の実施に向け、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

企業誘致につきましては、7月31日に154社240人が参加した「あきたリッチセミナー in TOKYO」に出席し、本市の立地環境や支援制度をPRするとともに、各業界の動向等に関する意見交換を行っております。また、秋田県企業立地事務所に派遣している職員や首都圏在住の企業専門監が収集した情報をもとに、本市に進出を検討している企業の視察受入や、トップセールスとして首都圏企業訪問を行うなど、

企業誘致の実現に向けた取組を進めております。

新工業団地の整備につきましては、5月31日に副市長を総括とするプロジェクトチームを立ち上げ、現在、様々な分野にわたる課題解決に向け全庁を挙げて取り組んでおります。当該団地については、これまで「工業団地」という名称を用いておりましたが、多様な企業等の進出にも対応できるよう、今後は「企業団地」として事業を進めてまいりたいと考えております。なお、当該団地整備に係る現時点での事業概要について議員各位にご説明申し上げるため、今次定例会において説明会を開催する予定としております。

西仙北地域の「大綱交流サロン」につきましては、これまで市民の交流スペースとして、また、商店街の活動拠点・観光拠点として役割を果たしてまいりましたが、建物の老朽化が顕著となり、今般、施設の解体を行ったことから、新たな施設整備が必要となっており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、建設部関係についてであります。

「大仙市災害危険区域に関する条例」に基づき指定した協和地域の岩瀬・湯野沢地区につきましては、現在、居住している37世帯のうち34世帯が国の雄物川中流部河川改修事業の移転対象となっており、令和3年度末までの移転を目指しております。残る3世帯についても、

災害危険回避の観点から、移転対象世帯と同様、早期の移転が必要であることから、今次定例会に関連予算の補正をお願いしております。

大曲駅東駐車場につきましては、新幹線の利用者に加え、大曲駅東線や中通線の開通によるアクセス性の向上により年々ニーズが高まっており、市民の利便性向上と県南の玄関口としての機能向上の観点から、今般、駐車場の拡張とロータリーの再整備、送迎車両スペースの増設を行うこととし、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

平成29年から2カ年にわたり発生した豪雨災害に伴う「災害復旧事業」につきましては、被災箇所188カ所のうち、7月末現在で187カ所の工事を発注し、86%に当たる169カ所で工事を完了しております。残る被災箇所についても、国に対する手続きが整い次第、発注することとしており、年内の工事完了を目指してまいります。

昨年5月の大雨により発生した山地崩落に伴う西仙北地域^{しらさか}白坂地区の「治山局所防災事業」につきましては、崩落地付近の住居への被害拡大の可能性を考慮し県と協議を進めてまいりましたが、今般、事業方針が固まったことから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、教育委員会関係についてであります。

7月にイタリアで開催された「第30回ユニバーシアード競技大会」におきまして、本市出身の鈴木優花選手が陸上女子ハーフマラソンに出場し、見事優勝を果たしております。陸上競技における国際大会での優勝は本県出身選手としては3人目となる快挙であります。

8月17日に開催された「第41回全国中学校軟式野球大会」につきましては、東北第2代表として本市の仙北中学校が初出場し、秋田県勢としては実に23年ぶりとなる4強入りを果たしており、その大躍進は地域を大いに盛り上げ、多くの市民の皆様感動を与えております。

施設の老朽化に伴い建替工事を進めている「大曲武道館」につきましては、6月27日に安全祈願祭を行っており、武道愛好者をはじめ多くの皆様の新たな活動拠点として年度内に完成できるよう整備を進めてまいります。

「(仮称)大綱交流館等整備事業建築工事」につきましては、7月26日に安全祈願祭を行っており、地域の生涯学習の拠点、さらには「刈和野の大綱引き」の継承と地域活性化の拠点として整備を進めてまいります。

今年で3回目となる「全国500歳野球大会」につきましては、県外22チームと県内10チームをお迎えし、7月13日から3日間、本市を会場に盛大に開催しております。今大会では、大熱戦の末、岩手県のI. O. F. Cあい おー えふ くらぶが初優勝を飾り、本市から出場した神岡大浦クラブが

準優勝を果たしております。今後も参加者の皆様が再び出場したいと思えるよう引き続きおもてなしの心で大会運営にあたってまいります。

次に、上下水道局関係についてであります。

今年度から新たに実施している「下水道接続促進事業」につきましては、8月20日時点で73件の申請を受付しており、補助金の交付決定額が299万円と当初の目標を上回るペースで推移しております。今後も戸別訪問等の啓発活動により更なる申請件数の増加が見込まれることから、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

最後に、財政状況について報告申し上げます。

平成30年度の決算につきましては、普通会計ベースでの実質収支が12億6,900万円、実質単年度収支が4億3,400万円と、いずれも黒字となっております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計決算につきましては、全てにおいて実質収支がゼロまたは黒字となっており、企業会計であります市立大曲病院事業会計、上水道事業会計、簡易水道事業会計及び下水道事業会計の決算における収益的収支はいずれも黒字となっております。

実質公債費比率につきましては、過去3か年の平均値で算出しており、

これまでの市債発行額の抑制による公債費の縮減などから、12.2パーセントと前年度より1.1ポイント改善しております。

また、将来負担比率につきましても、全会計の市債残高や一部事務組合の償還負担額、退職手当負担見込額の全てが減少したことに加え、財政調整基金への積み増しを図ったことから、128.1パーセントと前年度より6.7ポイント改善しております。

市の財政運営につきましては、普通交付税の減額により一般財源の不足が見込まれることから、現在策定中の総合計画後期実施計画との整合性を図りつつ、市債の発行額抑制や繰上償還、財政調整基金の積み増しに引き続き取り組み、将来を見据えた健全な財政運営に努めてまいります。

以上、諸般の状況を報告申し上げますが、これまで申し上げた以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。また、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和元年 第3回 大仙市議会定例会
市政報告

市長報告以外の諸般の報告

令和元年 9月2日

大 仙 市

目 次

1	ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリーについて.....	2
2	非核平和都市宣言事業について.....	2
3	大仙市敬老会について.....	2
4	大仙市身体障がい者福祉大会について.....	2
5	「かわ舟の里角間川」改築工事について.....	2
6	大豆産地化推進事業について.....	2
7	園芸メガ団地のトマト栽培について.....	3
8	農業用ため池ハザードマップに基づく避難訓練の実施について ...	3
9	真木関根小水力発電施設について.....	3
10	畜産共進会について.....	3
11	市の花「コスモス」の普及促進事業について.....	3
12	地域商店街元気づくり事業について.....	3
13	仙北地域求人説明会について.....	4
14	県南地区職場研修事業について.....	4
15	新規高校卒業予定者の求人状況について（6月末現在）	4
16	イベント民泊事業について.....	4
17	第42回せたがやふるさと区民まつりについて.....	4
18	8月の各地域のまつり行事について.....	4
19	インバウンド誘客の取組について.....	4
20	神奈川県座間市との友好都市交流について.....	5
21	宮古市民招待事業について.....	5
22	建設部に係る国、県関係事業について.....	5
23	「大仙ふるさと博士育成」事業について.....	5
24	「コロンブスの卵 アキタ・で・サイエンス」について	5
25	大仙市成人式について.....	6
26	県指定文化財の絵画資料群について.....	6
27	子ども読書通帳について.....	6
28	第27回全県550歳野球大会について.....	6
29	大学のスポーツ合宿について.....	6
30	上水道事業について.....	6
31	簡易水道事業について.....	7

【企画部】

1 ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリーについて

本市が有する各地域の文化財や史跡、祭り、温泉、酒蔵などの魅力を市内外に広く伝えるシティプロモーションの新たな取組として、スマートフォンを活用した「ぐるっと大仙デジタル・スタンプラリー」を9月からスタートしました。

2 非核平和都市宣言事業について

7月23日から3日間、「非核平和レポーター」として市内中学生4名を広島市に派遣し非核平和に関する研修を行いました。研修成果は、今後、市広報やホームページ、FMはなびを通じて市民に伝えるとともに、10月9日開催の「大仙市戦没者追悼式」において発表する予定としています。

【健康福祉部】

3 大仙市敬老会について

9月3日から18日まで、76歳以上の16,159人を対象に、市内15の地域や地区で開催します。

4 大仙市身体障がい者福祉大会について

7月4日、仙北ふれあい文化センターを会場に関係団体から82名の参加をいただき開催しており、自立更生功労者3名、団体功労者2名が福祉協会会長表彰を受賞されています。

5 「かわ舟の里角間川」改築工事について

5月30日、社会福祉法人水交会が運営する障がい者支援施設「かわ舟の里角間川」の竣工式が執り行われました。現在は、外構工事が進められており、12月に一連の改築工事が完成する予定と伺っています。

【農林部】

6 大豆産地化推進事業について

今年の大豆は、播種作業後の少雨により出芽・生育がやや遅れたほ場もありましたが、その後の適切な管理により概ね順調な生育状況となっています。大豆の産地化推進については、7月26日に管内の大豆栽培農家など33人の参加のもと、西仙北地域の栽培ほ場において現地検討会を開催しています。

7 園芸メガ団地のトマト栽培について

昨年より4日早い6月26日から出荷が始まり、8月20日現在の出荷量は、昨年同時期より8パーセント増の130トンと伺っています。生育状況は概ね順調であり、収穫作業と併せ、整枝、摘葉、摘果などの管理作業が進められています。

8 農業用ため池ハザードマップに基づく避難訓練の実施について

近年、台風や集中豪雨などにより農業用ため池が決壊し、下流の人家などに被害を及ぼす事案が発生していることから、9月8日、大曲球場に隣接する「中沢ため池」を会場として、県と市を含む関係団体の連携による管内初の避難訓練を実施する予定となっています。

9 真木関根小水力発電施設について

農業用水を活用した再生可能エネルギー発電として太田地域の真木溪谷入口に整備された「小水力発電施設」については、5月21日から試運転を行い、6月から本稼働を開始しています。

10 畜産共進会について

7月2日、神岡地域の笹倉公園を会場に「第13回大仙・仙北・美郷畜産共進会」が開催されました。本市から肉用牛42頭、乳用牛6頭、肥育牛4頭、家禽2番、家兎6羽が出品され8点が優等賞を受賞しました。また、8月25日に開催された「第97回秋田県畜産共進会」においては、本市から肉用牛10頭、乳用牛4頭が出品され4点が優等賞を受賞しており、このうち乳用牛1点が農林水産省生産局長賞に選ばれました。

11 市の花「コスモス」の普及促進事業について

8月下旬、市の花「コスモス」の周知と景観美化のため、大仙市緑化推進委員会から、植栽されたコスモスのプランターが市内の学校、公民館、介護施設などに寄贈されました。

【経済産業部】

12 地域商店街元気づくり事業について

8月24日、地域商店街の活性化に資する取組として、秋田県の「起業者を呼び込める商店街づくり支援事業」を活用し、空き店舗のリノベーションによる商店街活性化とまちの再生をテーマにした講演会を西仙北支所にて開催しました。

13 仙北地域求人説明会について

7月8日、52事業者の協力のもと来春の就職を希望する高校生を対象に開催し、高校生174人が参加しました。

14 県南地区職場研修事業について

大曲仙北、横手、湯沢雇用開発協会の共催により実施され、大曲仙北管内では73事業所、延べ275人が参加しました。

15 新規高校卒業予定者の求人状況について（6月末現在）

ハローワーク大曲管内において求人事業所数が昨年度同期より6社多い155社、求人数が9人多い477人となっています。これまでの管内各経済団体に対する求人の早期提出要請などが奏功したものと捉えています。

16 イベント民泊事業について

「大曲の花火」にあわせて実施した「イベント民泊事業」は、昨年を上回る11団体50名の方からご利用をいただきました。

17 第42回せたがやふるさと区民まつりについて

8月3日、4日の両日、東京都世田谷区で開催され、市職員及び市観光物産協会の職員をあわせた4名が参加し、特産品の販売や観光PRを行いました。

18 8月の各地域のまつり行事について

各地域や地区で、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されました。

8月 3日 第9回太田の夏まつり（太田地域）

8月 4日 亀田街道・雄清水^{おしず}まつり2019（西仙北地域）

8月15日 第35回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）

8月15日 彩夏せんぼく2019（仙北地域）

なお、8月16日に開催を予定していた大曲地域「角間川盆踊り」、中仙地域「第35回ドンパン祭り」、南外地域「第6回南外盆踊り」については、台風10号の影響により中止となっています。

19 インバウンド誘客の取組について

8月21日から4日間、秋田県知事をはじめ、県内10市町、商工団体、観光団体及び民間企業の関係者など49名が参加し、台湾へのトップセールスを行っております。本市からは佐藤副市長が参加し、現地旅行会社を

訪問、「大曲の花火」などのPR活動を実施したほか、「あきた食彩プロデュース」を訪問し誘客に向けた情報交換を行いました。

20 神奈川県座間市との友好都市交流について

7月6日、7日の両日、仙北ふれあい文化センターを会場に、神奈川県座間市の市民団体「ZAMAビッグバンドジャズオーケストラ」の15名と本市の「仙北吹奏楽団」の22名が演奏や意見交換を通じて交流を図りました。

21 岩手県宮古市との交流事業について

8月31日、宮古市との交流事業の一環として、宮古市内に住む子育て世帯22世帯77名を招待し「大曲の花火」を鑑賞いただきました。

【建設部】

22 建設部に係る国、県関係事業について

・国事業について

雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業は、今年度、強首地区、寺館大巻地区、中村芦沢地区及び岩瀬湯野沢地区の堤防・構造物の着工に加え、正手沢地区及び物渡地区の治水対策等調査を進めていると伺っています。

また、間倉地区の築堤工事は今年秋の完成と伺っています。

・県事業について

災害関連では、淀川、土買川及び檜岡川において平成29年7月の洪水に伴う堤防の嵩上げや護岸工事等の災害復旧事業並びに関連工事を実施しており、うち土買川については本年度の完成予定と伺っています。

【教育委員会 教育指導部】

23 「大仙ふるさと博士育成」事業について

地域の活性化に寄与できる子どもを育成するため、7月22日から25日までの間、「企業見学DAY」を開催し延べ118名が参加しました。また、7月24日、26日及び8月6日の3日間、「ふるさと農業体験DAY」を開催し延べ83名が参加し、市内の高校生7名も参加しました。

24 「コロンブスの卵 アキタ・で・サイエンス」について

8月1日、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に、市内の中学生14名が参加し、研究室や関連施設の見学、プログラミング学習などを行いました。

た。また、10月15日には、大仙バイオマスエネルギー協和発電所や秋田バイオガス発電所を見学する予定となっています。

【教育委員会 生涯学習部】

25 大仙市成人式について

8月15日、新成人602人が出席し、大曲市民会館を会場に開催しました。式典終了後の記念アトラクションでは、秋田ノーザンハピネッツのチアダンスチームによるダンスパフォーマンスや本市に縁のあるロックバンド「鴉」の近野淳一氏による弾き語りライブが行われました。

26 県指定文化財の絵画資料群について

8月8日から3日間、太田文化プラザに収蔵保管されている鈴木空如の「法隆寺金堂壁画模写及び下絵」をはじめとする絵画資料群について、東京国立博物館・保存修復室による資料調査が行われました。

27 子ども読書通帳について

「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書に親しむ習慣づくりと読書する意欲を高めるための新たな取組として、市内小中学校及び大曲支援学校の児童生徒を対象に、自分で読んだ本を記録する「子ども読書通帳」を7月に配付しています。

28 第27回全県550歳野球大会について

7月27日から3日間、県内各地から選抜された24チームの参加のもと大熱戦が繰り広げられ、地元角間川角球クラブが初優勝を飾りました。

29 大学のスポーツ合宿について

7月28日から早稲田大学や横浜商科大学など首都圏の大学を中心に12団体、約680人が本市を訪れ、市内宿泊施設を利用し夏合宿を行ったほか、野球教室の開催などによる地域交流も行われました。

【上下水道局】

30 上水道事業について

七頭地区配水管布設工事3件については、6月13日に発注を終え、来年3月末までの完了に向け工事を進めています。

31 簡易水道事業について

松倉地区への給水拡張を見据えた神宮寺地区簡易水道の統合・拡張事業実施設計業務委託については6月20日に、協和地域簡易水道の統合基本計画策定業務委託については7月18日にそれぞれ発注を終え、水道事業効率化の検討に着手しています。また、協和南部地区簡易水道の配水管布設替工事については7月11日に、中仙地域入角簡易水道の機械電気計装設備工事については7月25日に、導水管布設工事は8月1日にそれぞれ発注しています。